



6 身近な水辺再生事業「四つ木めだかの小道」



植物の種類も従来から現地に存在していたものを選定している



地下から水流が環流されている



水辺ではカルガモなど野鳥の姿も見られるようになった



葛飾区内を流れる曳舟川は、かつては灌溉用水として利用されていた河川でメダカの泳ぐ姿も多く見られたが、近年は水質の汚染が進むとともに、転落を防ぐために岸辺がフェンスで囲われたことから、人が近づける要素がなくなっていた。

葛飾区では、水と緑の自然環境ネットワーク計画が進められており、身近な水辺再生事業「四つ木めだかの小道」は自然と調和した快適な都市環境の形成を図るために整備が行われたものである。

整備にあたっては、地下に下水道管を埋設して上部を親水路とする構造としている。水路内は、メダカやトンボなどの水生生物が生息しやすいように、ワンドや堰、乱杭などを設け、自然の流れに近づけている。水辺の植物については、地元の野草研究者や学識経験者などの協力を得て、曳舟川における動植物の実体を確認し、古くから存在する種別を植栽し、外来の帰化植物などは排除している。また、地域の人々に親しんでもらうため、メダカや水生植物の里親制度が設けられた。

整備後は、地域住民の散策や憩いの場として、子供たちが水辺の生き物たちと遊びながら自然観察ができる場所として親しまれている。

DATA BOARD ⑥

- ① 東京都葛飾区四つ木1丁目～2丁目
- ② 延長：260m、幅員：9.3～14.55m
- ③ 京成押上線四ツ木駅から徒歩3分、JR常磐線金町駅からバスで約10分・四つ木橋下車
- ④ 曳舟川親水公園、堀切菖蒲園、外谷汐入庭園ほか
- ⑤ メダカや水生植物の観察会

